

授業科目 心理測定法

【担当教員名】 高橋 直樹		対象学年	2	対象学科	社会
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○	○	
【概要・一般目標：GI0】 心理学が科学として成立して、これまでに作り上げてきた「心」の測定法についての知見を示す。 まず、心理測定法の概念・歴史・方法などについて概観した後、測定の内容を「性格特性」「社会的行動」「認知機能」などの領域ごとに分類して、体験学習も交えながら、心理測定法に関わる重要な事項について学習する。 また、観察法やプロトコル法、及び、統計の理論と実際についても学習する。 この講義では、受講生一人一人が、対象者を理解するための幅広い教養を身につけ、対象者の個性や多様性などについて理解するために、自ら主体的に学習し続ける意欲を持つことを目標とする。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 「人間を測定するとはどういうことか」という問いに対して、自分なりの意見を述べるができる。 2. 心理測定の方法・歴史・方法について説明できる。 3. 心理測定の各論について、要点を理解し、説明できる。 4. 心理統計の理論と実際について、説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	人間を測定するとはどういうことか			1, 2	講義
2	パーソナリティ・アセスメント			3	講義・実習
3	性格特性の測定			3	講義・実習
4	社会的行動の測定			3	講義・実習
5	認知機能の測定			3	講義・実習
6	観察法・プロトコル法			3	講義・実習
7	心理統計の理論と実際			4	講義・実習
8	まとめ			1, 2, 3, 4	演習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		特になし。適宜プリントを配布する。			
参考書		改訂版 心理検査の実際	澤田 丞司	株式会社 新興医学出版社	2004・4,200円＋税
その他の資料		講義開始時に指示する。			
【評価方法】 出席状況 授業時の課題 筆記試験		【履修上の留意点】 学生の積極的な授業参加を期待する。 受講態度の悪い受講生は減点対象となる。 本講義の学習内容を、医療福祉の現場において活用しようとする姿勢が求められる。			